

文化財ニュース いわき

第 58 号

平成 10 年 6 月 22 日

財団法人いわき市教育文化事業団
福島県いわき市常磐藤原町手遣50-1
(いわき市考古資料館内)

TEL 0246 (43) 0391

連郷遺跡の調査

— 縄文時代のムラを掘る —

久之浜の市街地を通過する国道6号のバイパス路線内には、4か所の遺跡があります。平成7年から調査が行われ、現在まで縄文時代や弥生時代、室町時代などの遺跡が見つかっています。そのなかの一つ、連郷遺跡（久之浜町久之浜字連郷）からは、縄文時代のムラの跡あとが見つかりました。今回報告するものは、その調査成果の一部です。

連郷の台地に縄文人がムラを作ったのは、今から約7,000年前と約4,500年前の2回ありました。とくに約4,500年前は、大きなムラでした。見つかった生活の跡あとは、家の跡あと（たてあなじゅう 竪穴住居跡きょあと）、木の実などの食料を保存した穴（どこう 土坑）、不用になった土器を捨てた場所です。家は、丸い穴を掘って床を作り、中央のいろり（ろ 炉）では四季折々の食材が調理されました。保存用の穴は、1年分の食料を入れることができるくらい大きく深いものでした。

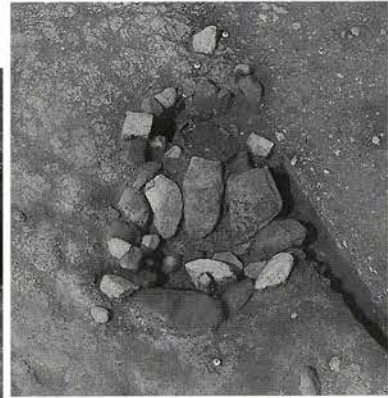


空から見た連郷ムラ（家の跡と食料貯蔵用の穴がまとまって見つかりました）

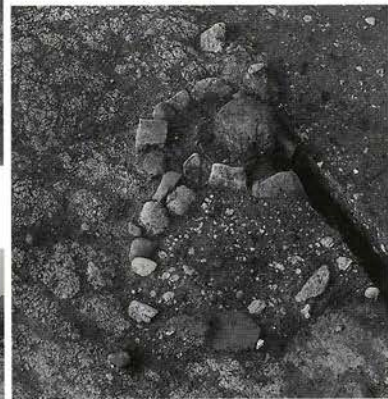
—住む (縄文人の家をのぞいてみよう) —



柱を立てた大きな穴といろりのようす



いろりは今のガスレンジ
今日のおかずはなにかな？



照明・ストーブの役目も
いろりを囲んで一家団らん



しゃがむとこれくらいの広さ 何人住んでいたのかな？
—保存する (貯蔵用の穴をのぞいてみよう) —



貯蔵穴はけっこう深いぞ
どれくらい入るかな？



食料貯蔵用の穴は家のまわりにたくさんあった



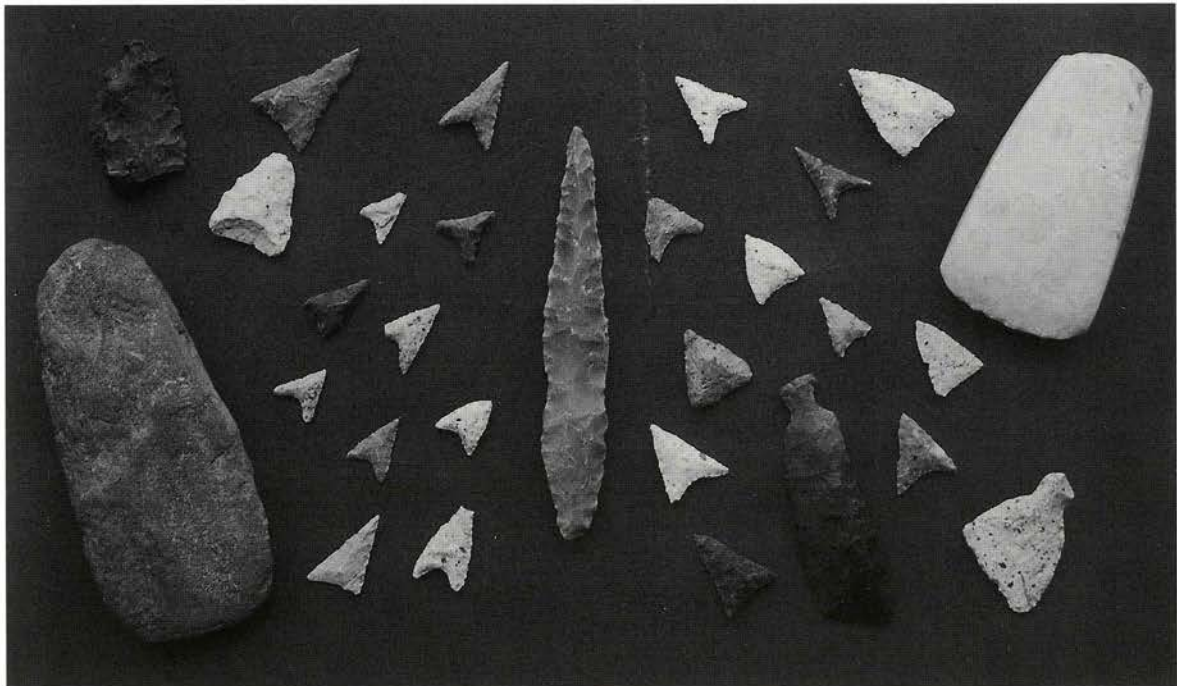
中に入っていた土器

とじておきましょう。

—道 具 (いまの道具とくらべてみよう) —



いろいろな飾りがついた縄文土器 縄文人は土を焼いていろいろな形のうつわを作りました。表面には縄目をつけたものが多いです。粘土ひもを貼りつけたり、棒で線を引いたものもあります。左上は人の顔をつけためずらしい土器です。



石で作ったいろいろな道具 狩りをする道具 (矢じり・ヤリ)、調理をするナイフ、木を切る斧などは石を加工して作られました。

とじておきましょう。

—久ノ浜バイパスで
調査した遺跡—



石坪遺跡



古墳時代の家の跡

大場C遺跡



まとめて見つかった大きな穴

連郷B遺跡



室町時代の建物の跡

連郷遺跡



調査中の縄文時代の家の跡

とじておきましょう。